



第6号

令和7年12月22日

庄和すずらん幼稚園

園長 戸田 千里

保育随想

★ 幸せって・・・

園庭の落葉樹たちがすっかり裸になり、木枯らしに舞い踊る葉っぱや寒波襲来！のニュースなどから「冬本番」を実感する季節となりました。

冬は寒いけれど、心の中はあったかい・・・そんな日々を過ごせたら素敵ですね。発表会、クリスマス会、お餅つき会などの行事はまさに寒い冬に心温まるエピソードがたくさん詰まっています。周りの人たちに認めてもらえた発表会、サンタさんが幼稚園に来てくれた高揚感、皆で一緒にもちつきをしてその場で食べられる「おいしい！」の気持ち。どれをとっても温かい！その温かさを共有できる誰かが傍にいてくれるともっと温かい！その温かさこそが「幸せ」ではないかと思うのです。

幸せをつかみとるという言葉を目にすることがあります。実際につかみとった方も周囲にはいらいやることでしょう。私は少し違って、常日頃「幸せ」とは、「感じるもの」と思っています。それが何によってもたらされるかは、その時々で変わるかもしれません。美味しいものを口にした時、大好きな物に囲まれた時、素晴らしい景色に出会えた時、感動する映画や本に触れた時等々。それは長期的な時間の場合もあれば、瞬間の場合もあります。いずれにしても「つかむ」というよりは「感じる」という感覚に近いです。

先日卒園生の保護者の方とお話する機会があり、とても嬉しいお言葉をいただきました。6年生となったそのお子さんのことについて、「学校の先生が大好きで毎日楽しく登校できています。幼稚園の3年間で先生のことを大好きという体験を通じて、先生という存在に対する愛情をそのまま引き継いで学校生活を送れているのだと思います。」とおっしゃっていました。お子さんが家族以外の誰かを信頼する、その最初の誰かとの出会いが、保育園や幼稚園であることで、私たちはとても重要な責務を担っています。でもそれは決して重荷ではなく、「よろこび」となり返ってくるものです。そこに幸せを感じながらこの仕事をさせてもらっています。

「辛い（つらい）なあ」と感じる事があった時、何かひとつだけでも生活にプラスしてみてはいかがでしょうか？辛い漢字の上部に横線を一本いれると「幸」という漢字になりますよ。生活にひとつプラスされたものが、辛いに足した横線一本と同じであれば、きっと幸せを感じられる！何かと忙しく、慌ただしい年の瀬ではありますが、仕事、家事、育児に頑張っていらいやる皆さんが、ご自分やご家族にプラスワンの幸せ見つけができることを願っています。

2025年もあと少し。新しい年は午年ですね。馬は「跳ねる・駆ける・達成する」がキーワードとなるそうです。新しい年に思いを馳せ、ご家族でゆったりと穏やかな新年をお過ごしください。そして、新学期も元気にお会いしましょう。さらに、一緒に「幸せ」を感じられる生活空間を創造していきましょう！